

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 和歌山県立星林高等学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫
 中学校 中高一貫 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）

所在地 〒641-0036

和歌山県和歌山市西浜 2-9-9

E-mail postmaster@seirin-h.wakayama-c.ed.jp

Website <http://www.seirin-h.wakayama-c.ed.jp/>

幼児児童生徒数 男子 395 名 女子 515 名 合計 910 名

幼児・児童・生徒の年齢 16 歳～18 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

3. 活動内容

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

国際交流科 1 年生は例年カナダ研修旅行に行っています。本年度もホームステイや現地高校生との交流など、貴重な体験をすることができました。また事後学習として、生徒は各自でテーマを設定し、カナダに関する調べ学習を行いクラスで発表しました。代表者数名は国際交流科 1・2 年生（80 名）の前でも発表することになっており、新 1 年生にとっては海外研修旅行の事前学習としても役立っています。

海外との交流においては、アメリカ・オーストラリア・中国・韓国の 4 カ国の姉妹校やタイの交流校と、隔年で受け入れ・派遣を行っています（一部不通）。また、オーストラリア短期語学研修旅行も行っており、全生徒を対象としたこれらのプログラムには、国際交流科だけでなく普通科の生徒も積極的に参加しました。和歌山県を通じたスペイン訪問団やマレーシア訪問団、JENE-SYS を通じた韓国訪問団の受け入れなどでは、学校紹介やマシュマロチャレンジで相互交流を深めるとともに、時には和歌山城ガイドボランティアも行いました。日本語が流暢な海外の高校生に刺激を受けて、英語以外の外国語学習にも一段と意欲を見せるようになりました。長期留学では、フィジーに派遣しています。

国際理解への取り組みは、講演会を年一回実施しており、国内外で国際関係に携わり活動されている方々から、その活動内容や国際社会についてのお話を伺い、これからの

日本と世界との関係や国際社会のあり方・方向性について考える機会となっています。本年度は、浅田紀子氏（NPO 法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン）をお招きしました。また、毎年4月に国際交流科1年生全員と普通科1年生希望者を対象に、一泊二日で国際交流セミナーを実施しています。国際理解活動・外国語体験・日本の伝承文化体験などを通して、文化や価値観の相違点や共通点について学習を深め、国際理解に対する興味・関心を喚起することに重点を置いています。

和歌山県が主催するアジア・オセアニア高校生フォーラムには4日間にわたり参加し、防災対策についての発表者として参加するとともに、オーディエンスとして国際交流科の生徒を中心に各国代表の発表を聞きました。また、フォーラムに参加した海外高校生の訪問を受け入れたときには、クラブ活動交流や地域紹介を通じて相互理解に努めました。さらに地元企業と一緒に訪問し、リサイクル事業について学習を深めました。

本校を含めた県立高校5校が和歌山クラスターとして活動している地方創生イノベーションスクール2030では、2030年に予想される地域の課題を解決するために、中高生が海外生徒や地域・企業等と対話・協働する国際協働型のプロジェクト学習を行っています。ワークショップや海外研修に参加することで他校生と一緒に研究を進めるとともに、トルコ・ドイツの海外クラスターとも交流しました。集大成として開催された2017年8月の生徒国際イノベーションフォーラム（東京）には、15カ国・地域から200名を超える生徒と、教員、研究者・OECD・大使館・企業関係者など約150名、合計350名が参加しました。この活動における本校の研究テーマは「和歌の浦などの観光資源を活用した地域創生」としており、将来の和歌山について考察することで、ふるさと和歌山を見つめ直す機会にもなりました。これら以外にも、様々な活動や交流を実践するとともに、各種団体が主催する取り組みにも参加し、国際理解教育の促進に努めています。

外国語授業では、異文化理解を目的として、第二外国語（中国語・韓国語・スペイン語）の習得を促進しています。本年度も、第5回第二外国語レシテーションコンテストを開催しました。また、スピーチコンテストや弁論大会、検定にも積極的に参加しました。

平和学習に関しては、普通科2年生で沖縄修学旅行を実施しています。修学旅行の前には、基地問題や沖縄の自然環境、民俗などについて班別にテーマを設定し、調べ学習と発表をすることで、平和や人権、環境に関する探究学習を進めています。国際交流科の海外修学旅行の事後学習代表者も含め、クラス代表者が2学年全員の前で学習の成果を発表しました。



海外研修旅行（カナダ）



国際交流セミナー（ESL活動）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他 (観光)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他 (自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他 (時間外活動)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

LHR や異文化理解、第二外国語の授業などのなかで、年間計画を立案しすすめている。また、学校行事、時間外活動は、国際教育部が担当している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

国際教育部・JRC 部が中心となって適宜、教員に情報伝達をおこない、教科、学年、学校全体と協力してすすめている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

学校 HP、国際交流通信などを通して発信することで、個人やグループ、学校全体の経験を、多方面で共有することができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

和歌山県企画部企画政策局国際課・和歌山市観光国際部・OECD日本イノベーション教育ネットワークなどと連携。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

引き続き交流および語学学習を中心に国際理解教育を促進し、平和や人権、防災、環境、観光などの共通課題に取り組みながら、国際社会の一員としての自覚を高める取り組みを進めていきたい。